

平成29年度九州大学法科大学院入学者選抜試験

(第2次募集)

試験問題

論文試験

(注意事項)

- 一 本試験問題は指示があるまで開かないこと。
- 二 本試験問題は（この表紙と白紙を除き）9頁、解答紙は4枚である。「始め」の合図があったら、それぞれ確認し、解答紙のすべてに受験番号を記入すること。
- 三 解答文は横書きとし、所定の解答欄に記入すること。
- 四 論文試験の筆記具は、B又はHBの鉛筆又はシャープペンシルを使用することとし、それに従わない答案は無効とする。
- 五 ラインマーカー及び色鉛筆の使用は、問題検討のために、問題用紙及び答案構成用の下書き用紙に限り許可する。

I 次の文章をよく読んで、問（１）・（２）に答えなさい。

【出典】 齋藤純一 「「見棄てる」という暴力に抗して」 姜尚中ほか編『思考をひらく』
（岩波書店、2002年）53-58頁。

なお、問題の作成に当たり、原典の文章を一部加工している。

- 問（１） 下線①において、…と述べているが、その設定が「逆説的」であるというのは、なぜか。本文に即して150字程度で説明しなさい。 [配点：30点]
- 問（２） この文章のタイトルにある「「見棄てる」という暴力」とはどういうことか。本文に即して150字程度で答えなさい。 [配点：30点]

II 次の文章をよく読んで、問（３）・（４）に答えなさい。

【出典】 杉田 敦 「境界線と政治」 姜尚中ほか編『思考をひらく』（岩波書店、2002年）
59-64頁。

なお、問題の作成に当たり、原典の文章を一部加工している。

- 問（３） 下線②の「この二つの選択肢」とは何と何か。20字以内で答えなさい。 [配点：20点]
- 問（４） 下線②において、「この二つの選択肢は、いずれも破綻せざるを得ない」と述べているが、両者は、なぜ、破綻せざるを得ないのか。本文に即して300字程度で説明しなさい。 [配点：50点]

III Iの文章とIIの文章（あわせて、以下「二つの文章」という。）をよく読んで、問（５）・（６）に答えなさい。

- 問（５） 二つの文章において共通する主張は、どのようなことか。二つの文章の本文の表現を参考にしつつ300字程度で説明しなさい。 [配点：40点]
- 問（６） 問（５）で挙げた二つの文章において共通する主張に対して、あなたはどのように考えるか。二つの文章の中で示されている各主張に対する課題も取り上げながら、あなたの賛否の立場を明確にして、600字程度で論じなさい。（なお、解答に当たり、二つの文章の中で扱われていない事例を挙げて論じても良い。） [配点：80点]